

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

6目 農作物対策費 <地方機関計上予算>

中部総合事務所農林局 (0858-23-3165)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
三朝米ブランド化支援事業	324	191	133				324	
トータルコスト	1,131千円 (前年度1,020千円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務、事業実施主体及び関係機関との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	多様な農業の担い手の育成・確保 (H26目標 認定農業者877経営体、集落営農組織・法人142経営体)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内でおいしい米の産地といわれている三朝町において、米のブランド化をめざしたプロジェクトを設置し、三朝米の高付加価値化に向けた取り組みを通じて地域の活性化に資する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

業務内容	必要経費	事業主体	事業費	予算額	負担割合
(1)プロジェクトの推進活動	特A他米コンテスト出品 先進地・消費地事例調査 生産者大会の開催	三朝米ブランド 化プロジェクト (三朝町・鳥取)	503	167	鳥取中央 農協 1/3 県 1/3 町 1/3
(2)栽培技術の実証	食味向上技術の実証展示 三朝米栽培基準作成	中央農協・全農 ・生産者等)	155	52	
(3)高品質化	栽培技術研修会の開催 GAP導入の検討		90	30	
(4)ブランド化	産地交流会の開催 アンケート調査等の実施		224	75	
計			972	324	

3 これまでの取組状況、改善点

- 特A取得等により三朝米のブランド化を図るため、平成20年度に三朝米ブランド化プロジェクト(鳥取中央農業協同組合、三朝町、全農、生産者、県、全農)を設立し、特A産地(京丹後)視察、食味・品質向上展示ほ設置、全国米コンテスト出品、県外実需者との意見交換、三朝温泉組合・観光協会等の訪問などに取り組んだ。
- 意見交換会での、生産者、ほ場を限定し、温泉や地元産品など地の特徴を生かした「三朝米」のブランド化を図ったらどうかという提案を受け、生産者の組織化、厳選三朝米(仮称)栽培指針の作成、ほ場への看板設置等の生産体制の整備に取り組んだ。
- 三朝米の町内食味コンテストが開催され、生産者のブランド化への関心・意欲が高まった。
- 今後は、ブランド化に向けた旅館組合、観光協会等との連携、県内実需者や消費者の評価要望の確認と取り組みの検討、ホームページ等を活用した広報活動の強化を行う必要がある。